夕刊
磐城新聞
八月八日發行
(日曜祭日翌日休刊)

八月雜記

山本生

〔上〕

いろ〳〵のお話のついでに窪田先生から、歌はかなり出來だしたのだから今後は古典をきつと讀んだ。古典を讀まなくては歌の氣品は出てこないのだと言はれた。わたくしはこのお言葉には實にはつとして何んだか涙がにじんだ。わたくしはこれまで田舍ではなかなか古典を讀む家業のためゝ歌をしてゐるやうに趣意ある人々には言はれてゐた。

わたくしが目限りをのべるために、先方でもさうして與へたある宗匠さんなどは、かりそめの文章ではまへ狂言を演じた文章ではまへれが、わたくしなどを無名歌人と許し難にわたくしが古典をまづかのたり、緋子の譜法の歌壇や過去の歌人に關心をもつてゐるので、いつまでもさびとかあはれとかを奉つて拜んでゐる時代遲れのやうに忠告してくれたのを半年もしてから讀んだことがある。

わたくしは其の時今の田舍町に住んでゐる素で有名な歌人もゐるのかな、としみ〴〵感心して苦笑した次第だつたが、古典をさけすんだり、うかつに思つたりする空氣のあることをはいかにも淋しく感じた。

わたくしは宗匠さん方が何と言はうと、この民族文學たる和歌の本資が、古典に接し古典に徹しなくてはわかる筈はないと信じてゐて、決して耳をかさなかつた。

けれどもわたくしのやうに古典にくだはるものはおろかだつた。また田舍宗匠の連中のやうに古典をさげすむものは永遠に歌の本質からとも離さかなくてはならない。古典を讀んだからとてその邊の連中のやうに讀んだ顏をしたら駄目なのだ。ちつとも讀まない顏をするのだ。先生がに言はれた時、わたくしは自分のあやまちにはつきり氣がついた。つまり古典がきるまのを充分に體得して、一日は自分の血にし肉にしなければならないのだ。

雨中蝶

選　小野藤平

何耐晚春三日霖
玄衣不厭濕雲深
顚來求佃養身帶
小鳥狎看愛花心

待ち選ぶ古書の匂ひや土用干　克樣

8月9日

△傳教大師歸朝(一、一〇九)△散髮廢刀令發布(明治四)△上海に大山事件起る(昭和一二)△我方蔣軍の第三國旗惡用に關し各國使臣へ注意喚起(同一三)

歸省雜吟

上田冷人

(上)

○仰臥しの波の後尻に早瀬ける騷波の平涯に移らふ

○仰臥しに崩折興る騷波のおろかに音に昔聞饒ふます

○騷波、飜り羽ばたく鷗の羽つやに映りて夕べ幽けき

○夕光のこもれる波に飛びちらふ羽ばたく鷗のいくへ繼ふしへ

講談　恩讐無道

(173)　八我莊多郎　香川三十代畫

一人の客 (十四)

庄太郎にとつて、およそはかなき限りである。今日まで大事にかこつて來た掌中の珠を、コナ〳〵に打ちくだかれたほどの悲しみである。

專藏が、現はれたのだ。茅江があれまでに慕つてゐた專藏が、漂然と姿を見せたのである。

茅江の喜びは大きいが、それに反比例して、それだけの悲しみを味はねばならない庄太郎だつた。

專藏だと知つて、泣きくづれてしまつたち江に向つて、專藏が、

「とにかく、出よう。こゝに長居してはいけないのだ

——それにしても、もう二度と會ふまいと思つてゐたわしだつたが、運命は不思議と、わしにそれをさせなかつた」

と、述懷めいていふ言葉を聞いて、庄太郎は、ともに、奈落の底へ轉がつてゆくのを悟つたものだ。

そも〳〵、專藏その人であると、頷けたからである。

促されて、ち江は立上つた。庄太郎があとについていた。

種島の邸を出やうとして、その廊下つゞきの部屋に、三人の書生が縛られ、猿轡を嚙まされてゐるのを見て、さつき種島と呼んでゐた時に、誰一人出て來なかつた理由に氣が付いた。專藏のすぐれた腕が、それをさせたのであらう。

——いま、肩をならべて先へ行く專藏とち江のうしろから、一足遲れて歩く庄太郎の足どりは、そのあと同じに重かつた。

かなしい。はかない。はかない。

男泣きに泣き出したいほど心は苦しくなつてゐる。

が、ち江の幸福をねがつてやる上からは、專藏の出現は望ましいことであるが……本心は、そこを否ますにはゐられない相剋したものに、若者はさびしく惱んだ。

「信じられないな」

ポツリと專藏がいつてゐる。

「わしには、信じられない。こまだお前や惣介が、それまでにわしの身を案じてくれてゐたなどは、嘘と思ふも仕方がない」

母のふところに安心したものかスヤ〳〵眠つてゐる專之助を、橫抱きにしたち江が、別れてこの方の過ぎ越方を、とんなにか專藏の身を案じ暮らしてゐたかといふことを、こまごまと話すのを聞いて、ひやゝかな心で答へる專藏なのだ。

實際、もしち江の語るところが本當なら、おのれと好んで落ちた生活が、すつかり無意味となつてしまふ。……ないことだ!」

だから、ひやゝかではあるが、彼の心が、次第に感を受ける波のやうに、動搖して來てゐることは事實である。

ち江は、かなしい目を上げた。

「そんなにまで、思ひ詰めておいでになりましたか」

「お前たち兄妹を、この地上で一番憎い奴らだと、さう信じ切つて暮して來た」

「では……この子を、あなた樣の子供だと申上げましても……」

つめたい針を胸に感じながら、ち江は、オロオロといつた。

「な、なにッ」

さすがに、ハッとたじろかれたやうに。

「嘘など……嘘など申しません」

「……」

默つてゐる專藏の心を測りかねて、うしろの庄太郎が、

「旦那」

と、呼びかけた。

「おち江さまのお心持を、そんな工合にお取りなさるのは、無情といふものでござんす。深見の旦那の御親切を、そんな風にお考へなさるなア、あんまりでございます。誰よりも、あツしがよく知つて居ります。あツしが、よく知つて居ります」

「……」

マヂ〳〵と庄太郎の顏を見詰めてゐたが、

「よし、惣介に會はう」

天氣豫報

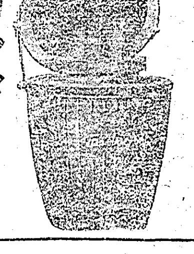
小名濱測候所發表

今晚　南の風晴

明日　南東の風晴　夕立模樣

優等賞受領
登錄商標
稻萬歲
稻妻
植田町
古川酒造店吟釀
電話一六番

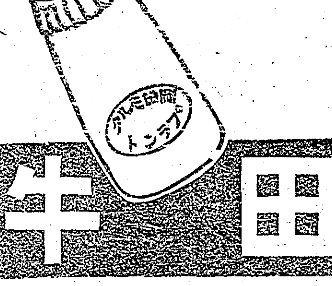
おでん、やき鳥
小鳥燒も初めました。
お酒のあとにおけさめし
平市三田小路(三丁目裏)
おでん
茶めし
酒の家
味鄉

實用新案第一八七四三〇號
意匠登錄第六六一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的な「かまど」は他にありません
安價な燃料で濟み、保溫力が強く堅牢で火の元絕對安全!、御使用に御便利な!石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、おすゝめ致したい新製品で御座います。

和洋銅物金物問屋
平市五丁目
釜屋商店

旅舍 大幸館
東京上野驛前(下谷郵便局橫通角)
電話下谷(83)六七七番
私は平市出身ですから特に鄉里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

平市田町
高久病院
(電話五三一番)
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹易經
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
(看護婦至急募集)

これは便利!
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけてたくだけで洗へる
㊤マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町一二

伸びよ太れよ牛乳飲んで

低溫殺菌
岡田牛乳
平市鎌田町
電話五一

只今入荷
金鶏印
天然バター
金鶏ミルクの北海道札幌工場製の天然バターです。
天然バター品薄の折柄是非御用命下さい
$\frac{1}{2}$ポンド　$\frac{1}{4}$ポンド詰
西村屋藥局
電話3番

診　夜
胃腸性病
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
(平市南町電一〇七番)
(見習看護婦募集)
療　間

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◇堅實な營業方針の サロンのお客樣は當地一流の方々です
◇色々な方に接することが 社交儀禮の實際に學び・成功の糸口ともなります
調理見習婦人
◈評定あるサロンの調理法を御傳授いたします
◈見習ひとして調理場に御勤務出來る御婦人に限る
◈14歲以上30歲迄の健康な方
◈3年以上勤續出來る方
◈親權者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
サロン
電話529

產婦人科
半坂醫院
平市田町 電五五九

中等學校
制服……大特賣
高島屋の洋服
男女學生服
新入荷
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

晝　夜
診　療
北川外科
外科 一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
血液檢査每日
◎入院隨時
平市新川町(電四六四)
醫學博士 北川芳夫

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します。
福好工業合資會社
代表者 强口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

平局の消化五十萬圓

市民の熱意に躍る支那事變國債

また廿日から賣出し

支那事變國債の郵便局賣出しは一昨年十月から既に十回に及び平局の消化額も四十七萬千五百五十圓の多額に上り、燃ゆるが如き市民の愛國熱を反映し來つたがその第十一回分が來る二十一日から來月一日迄賣り出されることになつた。而もボーナス直後ではあり、當今の低金利時代に在つて寧ろ郵便貯金より利廻りが良い處から國債購入待機の形に在つた人達などにより一層賣れ足の速い事が豫想され、之を消化し盡した後の平局の消化高は恐らく總額五十萬圓を突破するものと觀られてゐる

今回賣出されるのは發行價格が額面百圓につき九十八圓の廿五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓券の五種の利札付國債と額面十圓、廿圓券で賣出價格七圓、十四圓の割引債券二種である

外交座談會

日英問題中心に

十二日夜公會堂で

日本青年外交協會主催夏季全國巡回外交座談會は既報の如く十二日夜七時から市公會堂日本間に開き日英會談問題を中心に語り合ふが講師外務省調査部囑託大谷孝太郎氏は東京商大卒、大正十三年四月より一昨年十二月迄上海東亞同文書院教授をつとめた支那通、出席官民代表百餘名に上るらしい

慰安演藝大會

十八日夜公會堂で

市內出征軍人遺家族慰安演藝大會を十八日夜七時から公會堂に開き前線將兵慰問の旅から歸つた福島市熊田三郎さん出演

天滿宮例祭

縣社子鍬倉境內天滿宮例祭は九、十(舊二十四日)の兩日執行皇軍戰捷、武運祈願を行ふが恒例小學生の書畫萬燈に境內を飾り相變らず賑ひを呈するものと豫想される、尙ほ當日は緣起の神籤を分つと

點呼豫習敎育

平市の簡閱點呼豫習敎育は十四日から三日間執行、最終日午後一時から第一校で統制指導訓練を行ふ

甲種臨海便り

平第一小學校 (一)

八月七日(月)快晴 八時二〇分、お母さんの笑顏に見送られて平驛出發乙種、日歸へり、それに甲種の僕逹と賑やかな列車はどこへ行つても赤い帽子が笑つてゐる。昨日までの靄風は跡もなく四倉驛に着いた頃は今日の快晴を約束するかの樣に薄雲を破つて太陽が輝き初める。心配してゐた天氣がこんなによくなつた事はほんとに嬉しい。驛に昨日僕等の荷物を持つて來て下さつた志賀先生と遠藤先生が出迎へて下さる。一同は荒れ狂ふ海を見物して宿舍に着いた。橋本先生が大きな聲で指圖して僕等の荷物の場所を決めて下さる。それから齊藤先生太和田先生から色々と御注意を聞きさて荷物の整理に取りかゝる、財布は皆先生があづかつて下さつた。褌のかけ方を復習してからさて裸體のまゝ海へ行く海へは直ぐなので都合が良い。砂遊びで午前中暮らして宿舍に引きあげ腹ごしらへをして又海へ出る。午後は海氣館の前で飛び込みばた足の練習、おやつのキャラメルは鹽辛らい口に今までになくおいしかつた。四時頃早目に引き上げて入浴。さつぱりした氣持でお父さんお母さんへ手紙書く。日歸りの人逹が寄つて僕等の樣子を見て行つた。これから臨海での初めての夕食だ御馳走は何が出るか樂しみだ。

炎天下劍を競ふ

平署で文字通り土用稽古

各學校生徒の集團勤勞、官衙公署の休暇廢止等、力强い暑熱征服に各方面とも大に銃後の張り切りを見せて居るが平署でも恒例の武道土用稽古を一層擴充し、目下適々演武場が新築工事中の爲め、去る二日稽古開始以來便宜會議室を利用し來つたのが、昨七日は恰も防空演習に關する關係筋の集りがあつて同所を使用することが出來ず、事務室裏手弓場の炎天下に於て野試合さとも云ふべき活潑な場面を見せ体育方面の警察陣營强化にも最大の緊張味を漂はせてゐる

市參事會

九日午後一時から開き臨時出納檢査立會人三名互選、寄附採納區長及び區長代理推薦、平商務校舍一部無償拂下等附議

甘味は滿點ですヨ

平窪の水蜜出廻る

十日第四校で品評會

味覺の寵兒、平窪産水蜜は例年水戸方面にまで出荷好評を博し今年は旱天のため幾分出廻季が遅れつゝは小さいが甘味等から云へば昨年よりずつと品質がよいので果樹組合ではそろ／＼共同出荷の準備を進め、これに先立ち來る十日第四小學校で試食品評會を開く、出荷總數百五十點(一點二箱)を豫想され三等迄入賞を決める筈

梨子出荷の

釘不足懸念

桃の出荷を前にして平窪果樹組合では釘の配給方に關し極力當局に運動した結果どうやら間に合つたが今後出廻る梨子の出荷にはまだ一と惱みであらうと早くも組合員の間に懸念されて居りこれがきり拔け策として一層共同出荷を獎勵してゐる

子寶現存十一人

大臣賞を約束されてる

芽出度い國府田篠原兩家

生めよ殖せよ！の國策遂行上、厚生省では新に人口問題研究所を創設して人口增殖の根本方策を樹てる筈であるが取り敢へず來年度から繼續事業として多子家庭を表彰することとなり之に要する豫算迄省議で決定した。表彰されるのは滿六歲以上十名以上の子を持つ家庭で之には厚生大臣賞、地方長官賞が贈られるが地方ではこの輝かしい該當者として市內鍛治町國府田直良氏(五〇)が眞つ先に擧げられる。卽ち同家ではゑ子夫人(四九)との間に、稀有の秀才として大に前途を屬目されながら二高在學中惜しくも夭逝した長男一良君を除く外現在の子女二男良平君(二七)三男保良君(二五)四男元良君(二三)長女みきさん(二二)二女けいさん(二一)三女しげさん(一八)五男善之君(一六)六男信良君(一四)四女よしさん五女ふじさん(九)六女宏子さん(七)の五男六女を有し見事にその資格條件に當て嵌つてゐるわけである。次に市內田町酒醬家篠原松太郎氏(四八)も妻つやさん(四三)との間に左記十人の子女を有し世人からその子福者を羨まれてゐる

二男善治君(二六)三男龍次郎君(二四)長女かつさん(二二)二女たみさん(二〇)四男孝吉君(一八)五男仁平君(一五)六男芳夫君(一四)七男辰也君(一三)八男光之君(一一)十男隆雄君(八)

磐中 集團勤勞終る

收入の一部を營繕費に

磐中に於ける夏休み中の集團勤勞は過般來高學年生によつて續けられた夏井川、新川兩河川の改修が今八日を以て終了し明九日全校生徒の校內外大掃除を以て所期の日程が濟むことゝなる今八日は一、四年が校內外清掃、二三五年生は新舞子に耐熱行軍をした。而して前記に對する勞銀は計畫の性質上素より目的外ではあるが各數日間の就勞に就ては近く改修事務所より若干の收入があることになつて居るので同校では其の內の一部を以て生徒の水飲み洗足所の施設費に充てる見込であると

けふの獻立

家庭料理

平保健所榮養指導員 成田君子

小豆飯、かき卵汁 炒り煮

小豆 二〇瓦五、三匁
黑胡麻 三 茶匙一杯
莢豆三〇 三本
卵 三〇 半ケ
油揚 一〇 半枚
キャベツ五〇中葉一枚
油 三 〇、八匁
計蛋白質一一、九瓦
溫量二〇七カロリー

(調理法) 小豆はざつと茹でて、鹽少々ふつて御飯に炊き込む。黑胡麻は炒つて胡麻鹽を作る。莢豆は細く切り卵をじとなすそして汁を作る、油揚キャベツは千切となし油で炒め醬油少々加へて炒り煮とす。

老爺溺死

江名町下神白農馬目庫之助さん(七八)は六日午前五時頃外出家人が搜索中近所の小川に溺死体となつて發見された

鹿島村葬

鹿島村出身步兵上等兵鈴木徹郎君の村葬は今八日午後一時から同村小學校に執行盛儀であつた

相次ぐ水の犧牲

水泳中の少年溺る

赤井村諏訪農長谷川年夫さん長男岩夫君(六)は七日朝九時頃友達三名と同村諏訪原地內夏井川で水遊び中押し流されて行方不明目下搜索中だが死体はまだあがらない

立澤職紹所長上京

平職業紹介所長は九日から三日間東京で開かれる紹介所長講習會に出席のため上京

けふ早くも立秋

更に殘暑が一苦勞

夜の銀行四つ角に未だ虫賣りも出ぬうちに早くもけふが立秋である。秋風が立つ處か、キャンデー屋愈よ忙しく、當分眞夏以上の殘暑に苦しませらるゝ事であらう、ひる前校市の室內溫度三一度、(八七・八)

鎌田青年徒步運動

市內鎌田青年分團では身心鍛錬運動の一つとして六日の日曜新舞子まで徒步運動を試みる筈であつたが雨のため延期、近く日を選んで決行する

廢品獻金

市內一丁目では青年團と協力、廢品回收代十圓五十五錢を恤兵部へ、又鍛治町青年團は陸海軍恤兵部へ各五圓を市役所寄託

中元を―廢しませう

市で注意喚起

戰時下に於ける冠婚葬祭社交儀禮の改善は既に各市町村に於て夫々申合せを實行してゐるがこのうち今月中行はるゝ中元の贈答は永年の慣習として根强い傳統を持つ處から市ではこの際斷然これを廢止し戰時生活の意識を高揚すると共に消耗物資の減少に因る貯蓄增加運動の實績をあげるべく昨七日市內各區長を通じて經濟戰對處上市民の注意を喚起した

陣中を聽く

(446)

生死の境を越えて

銃後の激勵に應ふ

鷹匠町出身 清水直厚君(信通)

謹啓、其の後は意外に御無音に打過ぎ申譯も御座いません、銃後皆々樣には愈々御健勝にて國民協力銃後の完璧を期すべきと、御活躍に對し御苦勞の程、只管感謝感激に堪へません。衷心より厚く／＼御禮申上げます。

願みますれば昨年懷しき郷里の皆々樣の歡呼の聲に送られて出征以來、聖戰玆に一ケ年餘、其の間不肖私儀等に對し種々御激勵の御慰問の御言葉を賜り、且留守中は家族の上にも一方ならぬ御配慮に御厚情に嬉しく誠に有難く幾重にも御禮申します。御蔭樣を以て參加以來頑健で奉公して居ますから他事乍ら御放念下さい

又た度々郷土の御紙を御送下され有難く／＼懷しく拜讀しました、是れにより平市の進展、諸事業及び應召將士の消息を知得し喜びに堪へません。

光陰は矢の如く想ひ起せば昨年〇〇戰に近代戰の花形快速部隊の一員として前線行動に任じ幾度か生死の境を超えて、大陸特有の紅塵と愛車の油に塗られました、戰友も土で作つた人形と同じです。

道路と云ふ道路の總て燒き拂はれ、クリークの中を走る無數の爆跡家屋裝甲車の爆破物凄く空陸協力急追擊の猛烈さを想ひ出させます。

先づ驚くのは空爆の戰慄と我が荒鷲の正確な爆彈投下の跡で御座います、細い道路一つを境とする租界と支那街とか確然と區別され、一つは凄慘に一つは整然と致して居ます。

現在は〇〇江岸で炎熱百度の下紅塵と汗に塗られて愛車と共に行動を開始致してをります、市內は勿論、部落は到る處日章旗、五色旗が翩翻として輝き東洋平和確立の象徵して居ます。

此の我が國曠古の大業に參加出來ましたる事は男子に取つて光榮此の上なしで御座います。此の秋に當り東北健兒の意氣を發揮し聖戰の目的に邁進する覺悟で御座います

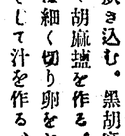
先づは御禮旁々御無沙汰の御詫び並に陣中近況御一報申上げます。最後に皆々樣の御健勝と御多幸を祈つて筆を擱きます

平市慶弔錄

△出生 上平窪字巽似井七八金成忠七氏四女信子さん、一丁目七小原竹五郎氏二女啓子さん、上平窪字町田二八鈴木吉久氏長男重夫君

九日

【小名濱測候所觀測】 滿潮 前九、二五 後八、五五 干潮 前二、五〇 後二、〇五



新八月九日 水曜 舊六月二十四日 戊寅 大安 破 參宿

▲一白 天職を守ればゆくわいに捗どり行くべし旅は凶▲二黑 鋭鋒の鈍らぬ樣に氣を締めて直前するが吉▲三碧 人を當てにせず己が力を便りと思ふべき日▲四綠 重心を失ひたるくわつ車の如く脫線し易すき日▲五黃 內を整へて後ち外に手を出せば大事成るべし▲六白 浮氣を戒め尻を落付けて精勵せば吉日たり▲七赤 變化を避け遲きを要ひず進む時は末は吉し▲八白 熱心と勉强とは何物も之を妨ぐる事能はず▲九紫 激浪の中をぬひ走る舟の如しかぢを誤まるな

白梅便箋 忠孝便箋 文鳥便箋 菊日本便箋
香取封筒 住吉封筒 東亞封筒 松竹梅封筒
特約店 (文) 魁文堂 電話313番

酒トマヅイ おでんの 榮ちゃん 平市田町花ノ里 電話三三番

磐中同窓生に告ぐ
來る八月十日午後一時より母校に於て例年の通り同窓會を開催可致候間奮つて御出席相成度候
磐城中學校同窓會長 關內正一

田邊先生畫會
今般中央洋畫壇の中堅作家田邊喜規先生が當地山崎與三郎、富澤英雄等に緣故あるを幸とし當地に來遊せられたき希望を洩らされたるを以て之を好機とし同先生の至藝を鑑賞し併せてさゝやかながら畫會を開催致度計畫致候間同好各位の御贊同を得ば幸甚とする處に有之候
尙田邊先生は收入の一部を國防獻金せらるる趣を言明せられ候
追而十二、十三、十四の三日間マルトモホールに於て展覽會を開催致可候間御清鑑願上候
田邊喜規先生後援畫會
發起人 青沼鋒太郎 阿部政右衞門 小野晉平 織田豊太郎 金成通 柏原幸次郎 木村清治 木村淳 佐藤庄太郎 鈴木大藏 關內正一 富澤英雄 野崎滿藏 濱崎善三郎 蓮沼龍輔 古川傳一 松本一郎 諸橋久太郎 山崎與三郎 柴田德二
事務所 マルトモ書店 電話一二四番 二三四番

職工及見習工募集
平市月見町 合資會社 佐藤鐵工所 電話三六二番

公休日割變更
一、第一組(每月第二水曜日)
一、第二組(每月第二木曜日)
右の通相定め卽日實行致します。その都度「公休」の札を揭げます
八月三日
平料理屋組合
平藝妓屋組合

强い 自轉車とリヤカー フタバ商會 新川町郵便局向

御會葬御禮
昭和十四年八月七日 平市立町四番地
嗣子 安孫子義秀
外親戚一同